

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

暑い日が続いておりますがいかがお過ごしですか。今年には格別に暑さが厳しいようですね。今回のワールドカップの選手達の活躍に胸躍らせたのが懐

かしく思います。一番感動したのは、日本のサポーターの方々が観客席のゴミを拾い集めたことや選手の方々がロッカーにロシア語で「有り難う」とメッセージを残し綺麗に掃除をした事に対して世界から絶賛の声が上がったこと。日本人の礼節を世界に知らしめた行動に日本人として誇らしく感じ、先人からの教えを子供、孫に伝えいく文化の継承を心に強く思いました。

時節柄お身体ご自愛ください。

サンライズの物語

最期を看取る辛さにどう寄り添うか……

介護職のあり方を考えさせられる物語

その方との出逢いは末期の肺癌に罹患し脳へ転移し治療方法がない状態で自宅へ戻る時でした。

自宅では障害を持っている奥様と二人暮らし。近所に一人娘さんが居るだけでした。

お会いした時に拝見した笑顔がとても素敵で「何もする事がないなら自宅へ戻りたいんだよね」との言葉が印象的でした。

在宅へ戻った当初はとても元気で大好きな新聞を読んだり奥様の手料理を美味しいと食べたりと・・・「戻って来て良かったよ」と言っておられますが病魔は確実に身体を蝕んでいき、あっという間に酸素、疼痛管理となってしまうのです。

私が最後にお会いした時はベッドの上で声を掛けるとうなずくだけでしたが、次の日天国へと旅立たれました。

お悔やみに訪問すると奥様や娘様から感謝の言葉を頂きました。

そんな時いつも私の頭の中をかすめる言葉があります。

「私はこの方や家族の為に もっと出来ることはなかったのだろうか？」

家族を看取る辛さ、悲しさにもっともっと寄り添える介護職でいなければならないと心に誓うのです。



介護に役立つ書籍紹介

穏やかな看取りのために 15の事例で学べる介護のポイント

著：内田 勝久 / 内田 貴士

ご両親や身近なひとを「穏やかに看取る」ためにいまできること。経験豊富なケアマネが15のエピソードを紹介しています。おさえるべきポイントと具体的なアドバイスを読みながら、15の終末期を疑似体験してみましょう。認知症や不安、死への恐怖を抱える方に寄り添うために、家族がとるべき態度と向き合い方とは？



NEWS 今月のニュース

高齢者や子育て世帯支援 「おたがいさま水戸」設立 9日から業務開始

高齢者や子育て中の母親などを対象に、部屋の掃除、草取り、保育園の送り迎えなど生活支援を行う「おたがいさま水戸」の設立総会が5日、水戸市緑町の県立青少年会館で開かれた。市内を活動エリアに、有償ボランティアが生活を支援する。9日から業務を開始する。

設立趣意書によると、高齢者には介護保険制度によるサービスだけでなく、柔軟で多様なサービスが求められている。「おたがいさま水戸」は「生活のちょっとした手助けをしてほしい」と願う人と、「誰かの役に立ちたい」と思

う人をつなぐ。地域包括ケアシステムの一翼を担う考え。

有償ボランティアである「生活応援サポーター」が手助けするのは、買い物、洗濯、食事作り、通院や買い物同行、ごみ出し、乳幼児の世話、電球交換など。コーディネートが連絡調整に当たる。

茨城保健生協、パルシステム茨城、いばらきコープの3生協が2015年から組織づくりの検討を開始。先進地視察や講演会を通して準備を進め、市や市社会福祉協議会とも協議を進めて設立にこぎ着けた。

岡部佳代子代表は「これから宣伝に努め、皆さんに利用される組織にしたい」と抱負を述べた。

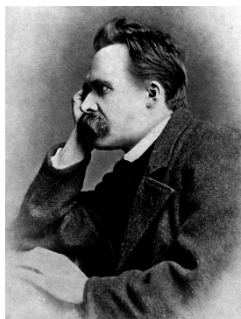
総会では地域計画医療研究所代

表取締役の美留町利朗さんが記念講演し「利用者の暮らしのケアが重要。暮らしの専門家を目指そう」と呼び掛けた。

利用料金は1時間千円、土日祝日は同1200円、交通費は実費負担。入会金、年会費は不要。1日最大4時間。生活応援サポーターは16歳以上で1時間800円、土日祝日は同千円の報酬がある。現在は約30人が登録している。



< 茨城新聞
2018年7月7日(土) >



今月の 名言

轢かれる危険が最も多いのは、
ちょうど一つの車を避けた時である。

フリードリヒ・ニーチェ

ドイツの哲学者・古典文献学者、ニーチェの言葉です。

もちろん交通事故の話ではなく、ひとつの危機を脱し安心してきつたときこそ油断してはならない、という格言でしょう。

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>